

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月24日

事業所名:smile

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8 (53.3%)	4 (26.7%)	3 (20.0%)	年齢に応じて居室を分け、体格の違いなどによる危険がないように工夫をしている	
	2 職員の配置数は適切であるか	5 (33.3%)	3 (20.0%)	7 (46.7%)	フォローが必要な部分を共有して適切な人数になるよう工夫をしている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	11 (73.3%)	4 (26.7%)	0 (0.0%)		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9 (60.0%)	6 (40.0%)	0 (0.0%)	ユニット会議や全体の会議を通して職員が関わっている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7 (46.7%)	6 (40.0%)	2 (13.3%)		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5 (33.3%)	5 (33.3%)	4 (26.7%)		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5 (33.3%)	7 (46.7%)	2 (13.3%)		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11 (73.3%)	4 (26.7%)	0 (0.0%)	事業計画において定期的に職員研修を実施している。また、必要に応じて研修の機会を確保している。	
適切な支	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10 (66.7%)	5 (33.3%)	0 (0.0%)	利用開始時にアセスメントを行っている。	今後は定期的にあセスメントを実施して計画に反映させていきたい。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8 (53.3%)	7 (46.7%)	0 (0.0%)	法人内のものを使用している	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9 (60.0%)	6 (40.0%)	0 (0.0%)	ユニット会議を通して検討をしている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8 (53.3%)	7 (46.7%)	0 (0.0%)	ユニット会議を通して検討。長期休みには個別の課題を用意している	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10 (66.7%)	4 (26.7%)	1 (6.7%)	状況に応じて課題を設定している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	9 (60.0%)	5 (33.3%)	1 (6.7%)		

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
援 の 提 供	15	13 (86.7%)	2 (13.3%)	0 (0.0%)	出勤時に全体での打ち合わせを実施。その後チームの打ち合わせを行う	
	16	7 (46.7%)	3 (20.0%)	5 (33.3%)	職員によって退勤時間が異なる為、全体での共有は難しい。緊急性が高いものについては正職員や準職員で共有をしている。	
	17	11 (73.3%)	3 (20.0%)	1 (6.7%)	個別支援計画の内容を踏まえ記録を実施している	
	18	10 (66.7%)	4 (26.7%)	1 (6.7%)	個別支援計画策定会議にて検討している。	
	19	6 (40.0%)	7 (46.7%)	1 (6.7%)		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	10 (66.7%)	5 (33.3%)	0 (0.0%)	児童発達支援管理責任者やチームの担当職員が参加している	
	21	14 (93.3%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	必要に応じて随時行っている	
	22	5 (33.3%)	9 (60.0%)	1 (6.7%)	必要に応じて行っている	
	23	9 (60.0%)	6 (40.0%)	0 (0.0%)		
	24	8 (53.3%)	6 (40.0%)	1 (6.7%)		
	25	4 (26.7%)	6 (60.0%)	2 (13.3%)	必要に応じて連携を図っている	
	26	3 (20.0%)	3 (20.0%)	9 (60.0%)	感染予防の為実施できていない	感染状況を踏まえてイベント等を計画していけるようにしたい
	27	2 (13.3%)	9 (60.0%)	4 (26.7%)		
	28	13 (86.7%)	2 (13.3%)	0 (0.0%)	受け渡しやモニタリングを通して機会を設けている	
29	6 (40.0%)	6 (40.0%)	3 (20.0%)	対象者がいない	ペアレントトレーニングが出来るような支援者を育成していきたい。	
	30	9 (60.0%)	5 (33.3%)	1 (6.7%)	契約時に丁寧に説明をしている。また、質問があれば随時対応している	
	31	10 (66.7%)	3 (20.0%)	2 (13.3%)		

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4 (26.7%)	5 (33.3%)	6 (40.0%)	感染予防の為実施できていない	感染状況を踏まえて計画していけるようにしたい
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14 (93.3%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11 (73.3%)	3 (20.0%)	1 (6.7%)	今年度から毎月広報誌を配布している	
	35 個人情報に十分注意しているか	15 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	同意書をもらい実施している	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5 (33.3%)	3 (20.0%)	7 (46.7%)	感染予防の為実施できていない	感染状況を踏まえてイベントを計画していけるようにしたい
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10 (66.7%)	4 (26.7%)	1 (6.7%)	避難訓練や感染症予防の研修を実施している。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11 (73.3%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	毎年2回の避難訓練を行っている	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12 (80.0%)	2 (13.3%)	1 (6.7%)	権利擁護虐待防止委員会にて年2回の研修を実施している。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	12 (80.0%)	3 (20.0%)	0 (0.0%)	権利擁護虐待防止委員会に会議を実施。必要がる場合には同意書をもらっている。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7 (46.7%)	8 (53.3%)	0 (0%)	嗜好調査票を毎年配布し確認を行っている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12 (80.0%)	2 (13.3%)	1 (6.7%)	打合せをして全体共有する。定期的にリスク会議を行う。	